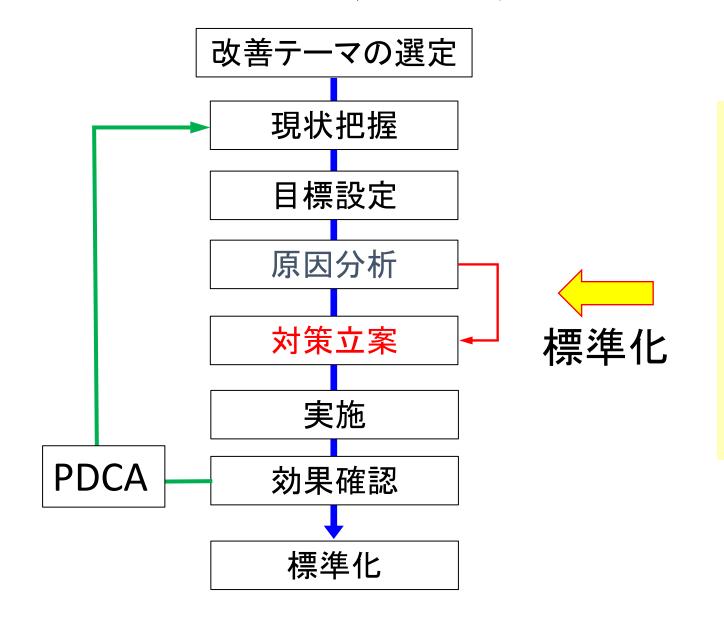
QCストーリー その6



原因の仮説を立ててみよう

以下の3つの要素が同時に組み合わせられ、バリが発生し、直径に影響した

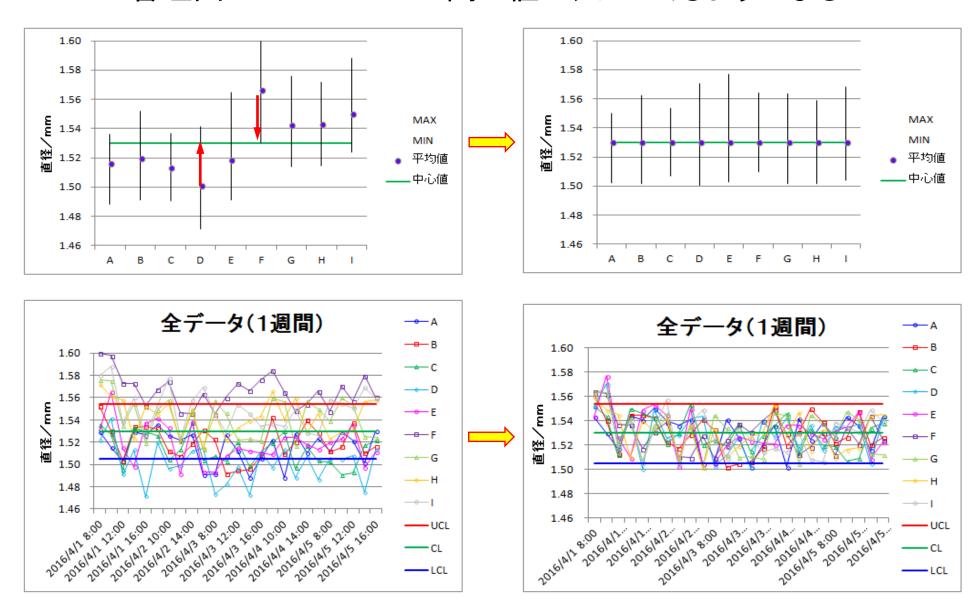
- •MFRが高い(流れやすい)樹脂
- 金型温度の冷却不足
- •エア一圧が突発的に上昇して保圧に影響
- ・金型の位置合わせ不良



改善のための是正・予防処置を立案する

是正案1

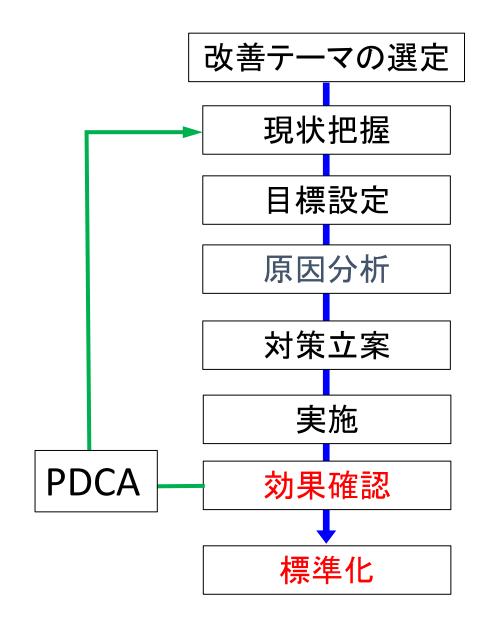
金型を調整するなどして、平均値が中心値になるようにする →管理図のUCLとLCLの間に値が入ってくるようになる



是正及び予防策(案)

| 項目 | 是正及び予防策 |
|----------------|---|
| 資材管理 | 原料のMFRをトレンド監視 →標準化 |
| 日常点検 | 重要パラメータのトレンド監視 →標準化 |
| 金型 | 金型メンテナンスの標準化 |
| 検査 ・工程検査 ・出荷検査 | ・抜取方法の見直し →標準化・トレンド監視、工程能力指数算出 |

QCストーリー その6



品質逸脱が起こらないように、標準化し予防することが肝要

- ①違いを比較、種々の角度から眺めてみる
 - 日内変動は? 週内? 月内? 季節変動は?
 - 金型間は? キャビティー間は? ライン間は?
 - •作業者間は?
- ②平均値と標準偏差、工程能力指数で比較 統計処理 → Minicabの利用
- ③日々の地道なデータの積み重ねが大事 データ収集は時間を要する

→ 管理図などで日々トレンドを監視しましょう

日々のデータは宝の山である



- •不良率低減可能
- •稼働率向上可能



